

⑬ 細胞集塊辺縁の細胞質の突出

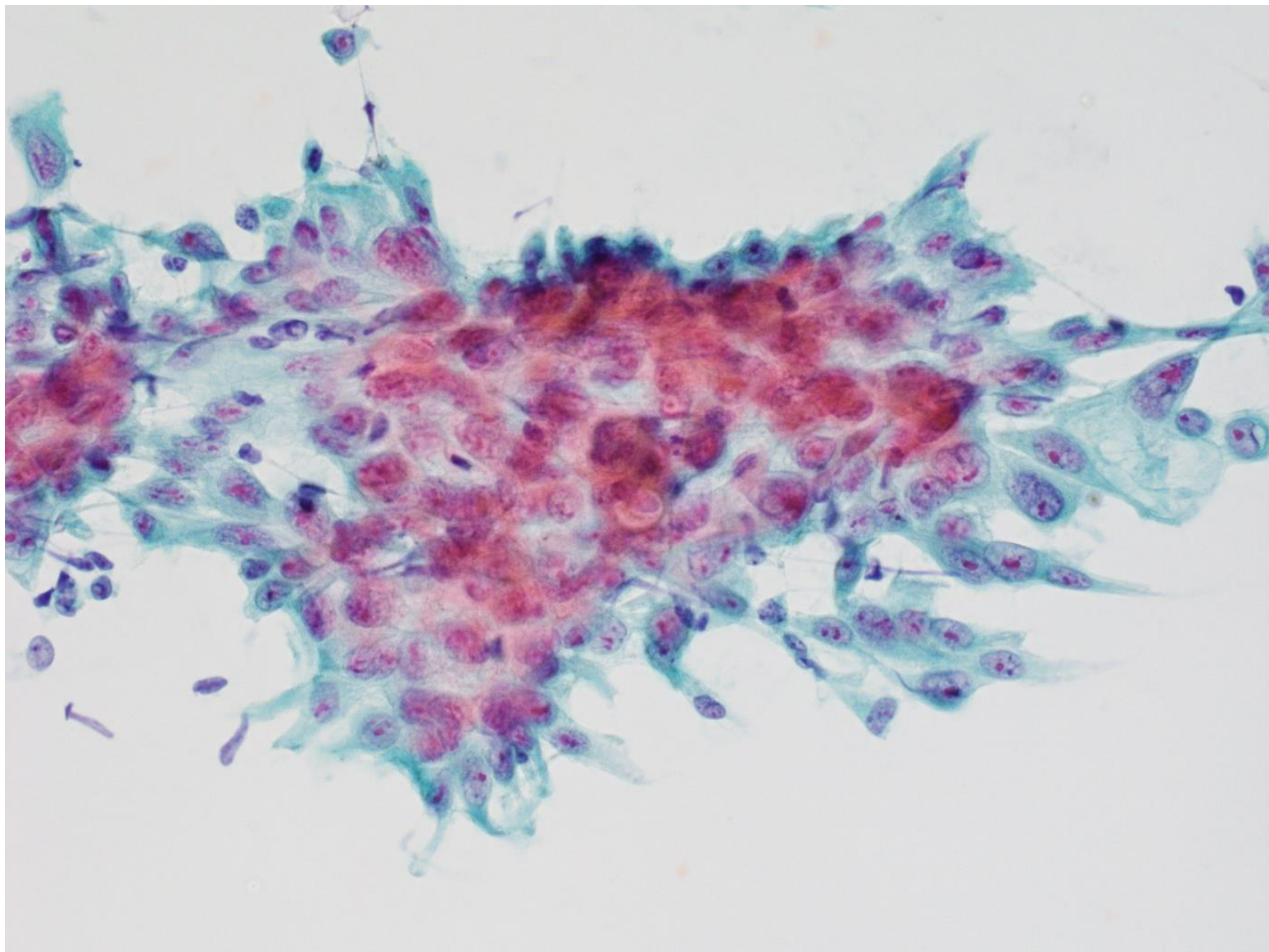
・細胞学的定義

細胞集塊辺縁で細胞質が突起状に突出している、あるいは細かい毛のようにバサバサして認められる。

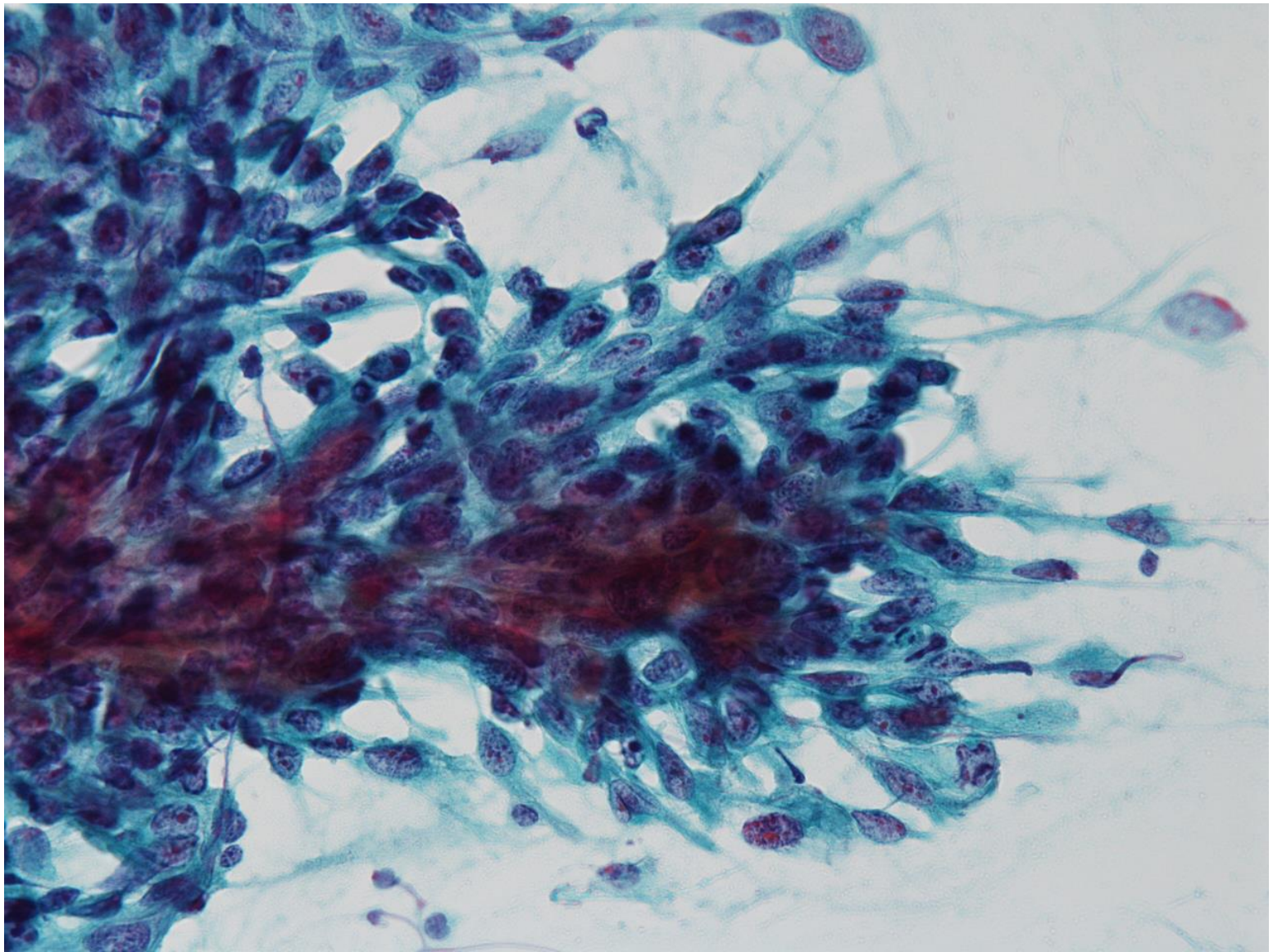
・組織型の推定と補足

細胞学的に細胞集塊辺縁の細胞質の突出を認めた場合は、腺癌よりも扁平上皮癌が推定される。しかし、腺癌でも同様の所見がみられることがあるため、やはり、他の細胞所見をよくみて、全体像から組織型の推定を行うことが望ましい。

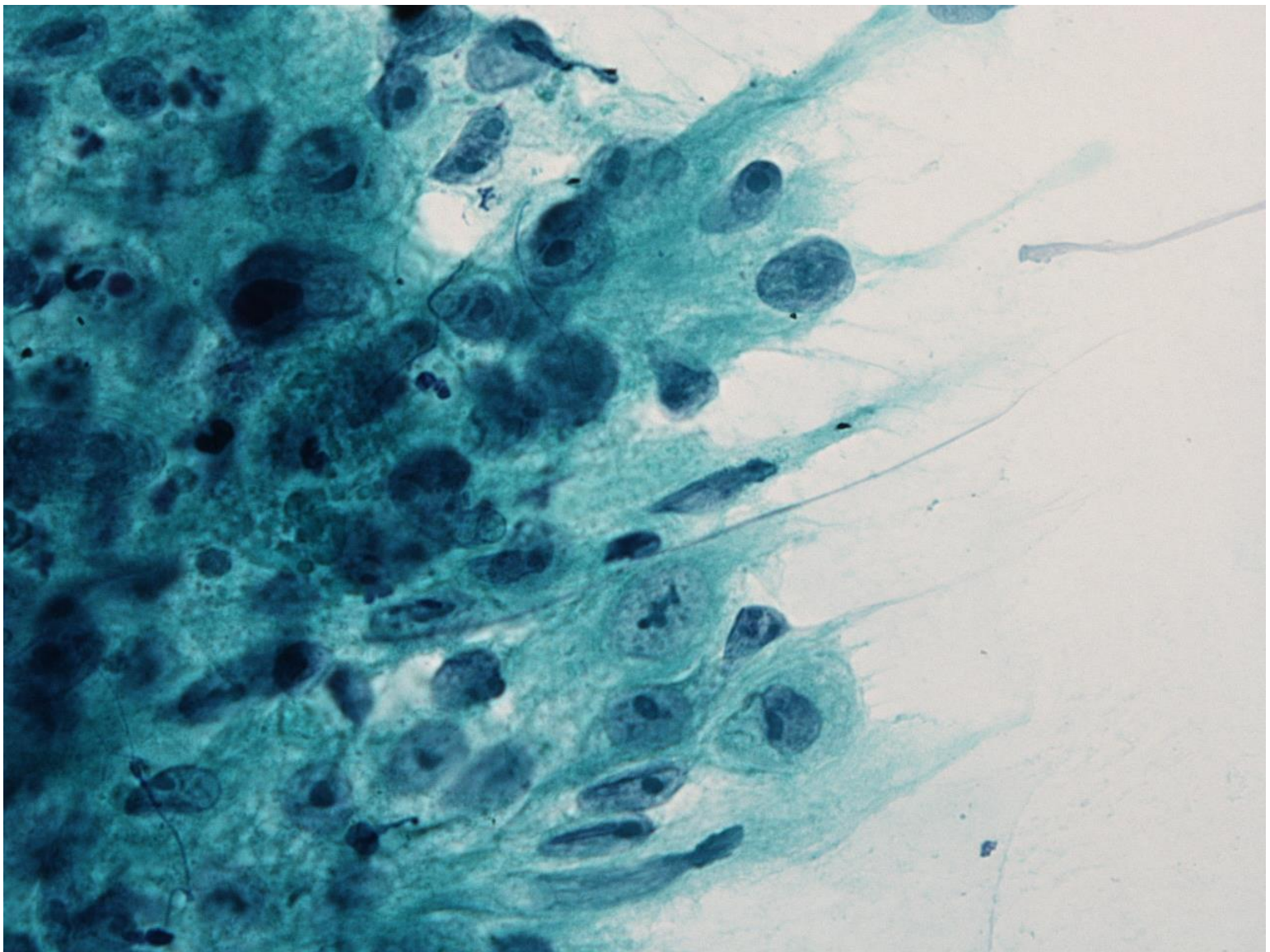
また、細胞集塊辺縁の細胞質の突出は、定型的なものが複数か所にみられた場合に、「細胞集塊辺縁の細胞質の突出あり」と判定する。



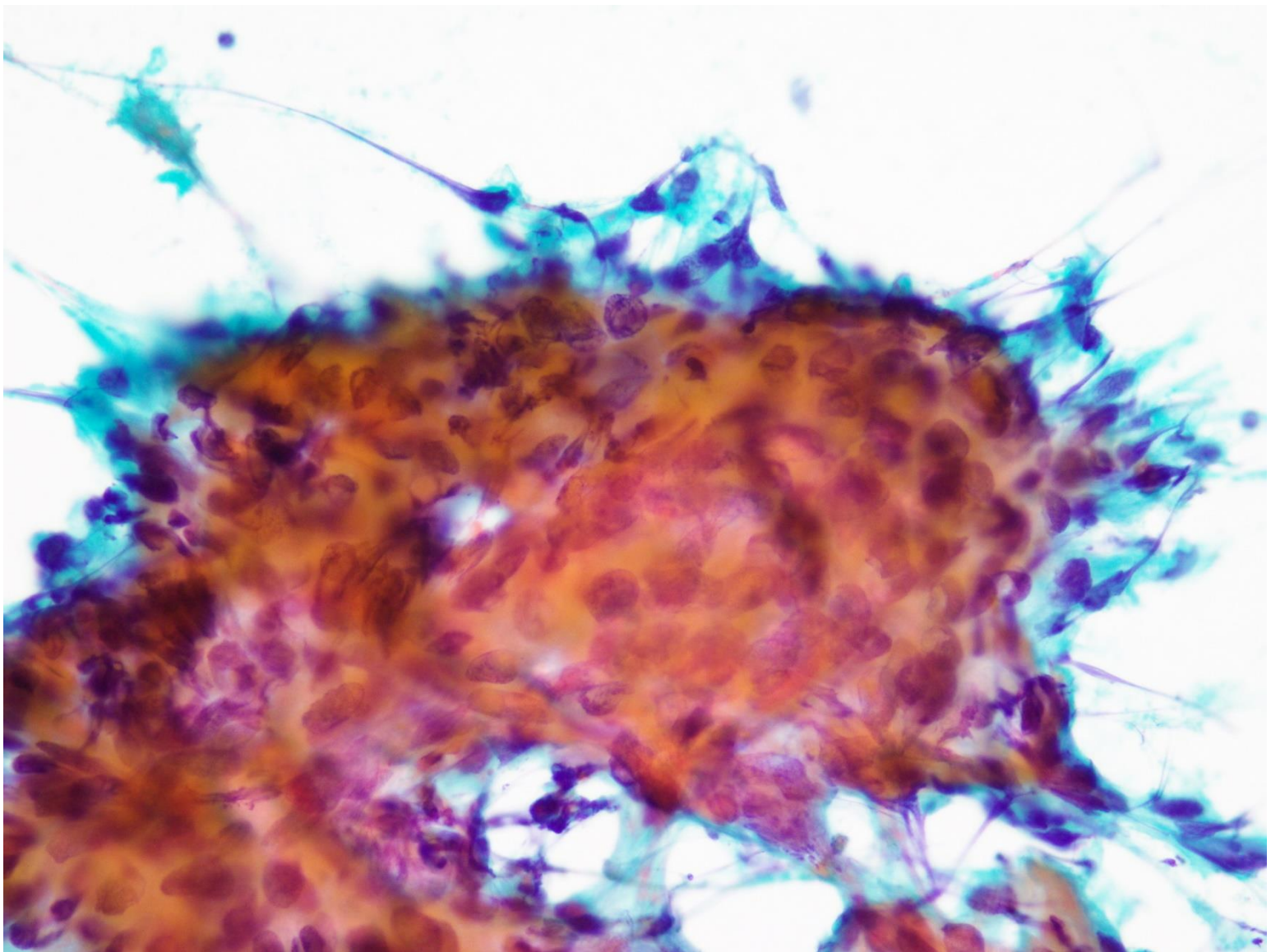
定型例 ⑬-1 (捺印、扁平上皮癌、用語の一致率90%) : 重積性を示す大型の細胞集塊がみられる。この集塊の下方辺縁部の腫瘍細胞では、ライトグリーンに淡染する細胞質が、突起状に突出している。



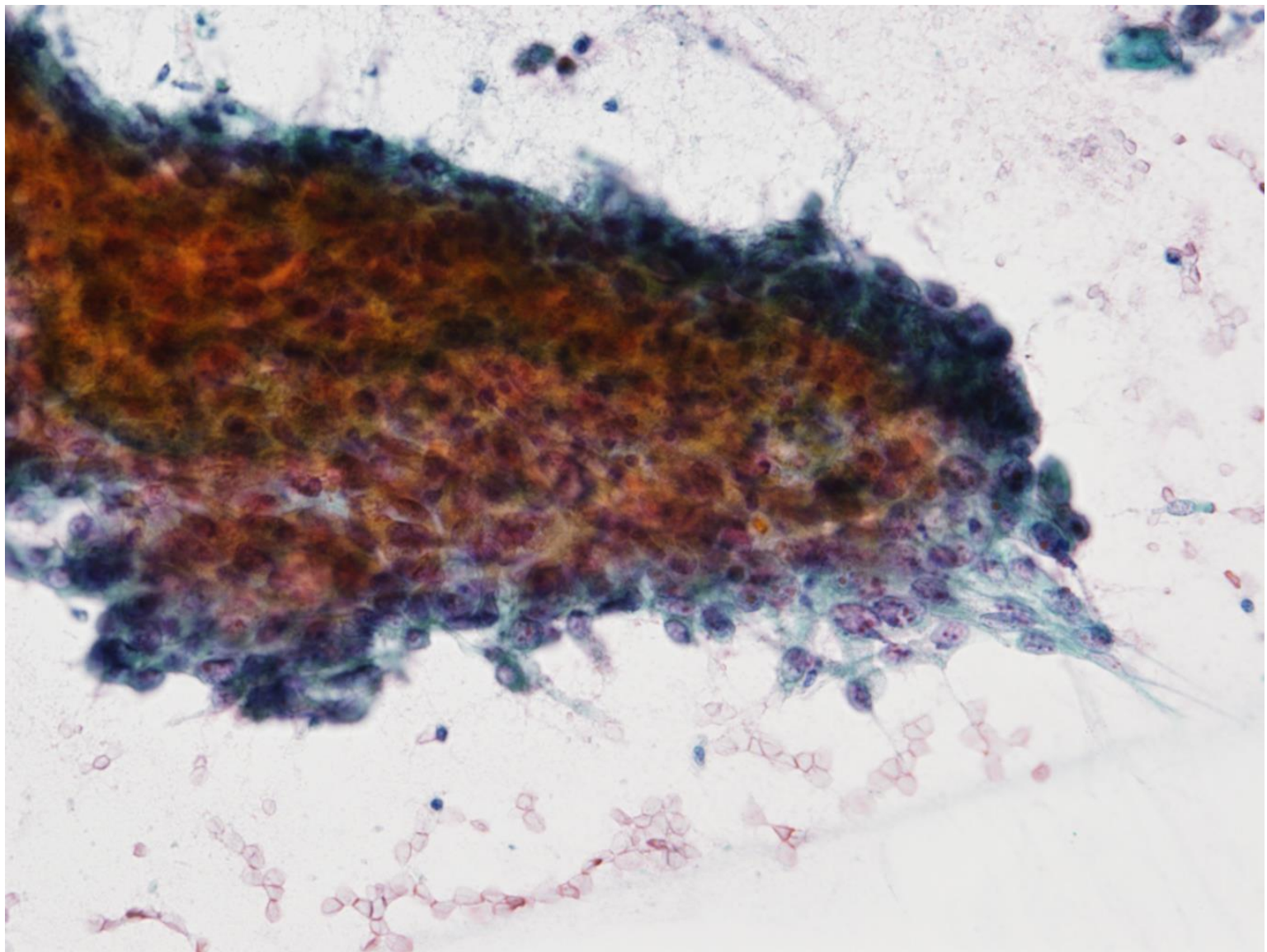
定型例 ⑬-2 (擦過、扁平上皮癌、用語の一致率90%) : 重積性を示す大型の細胞集塊がみられる。集塊の右側や下方の腫瘍細胞では、外方性にライトグリーンに淡染する細胞質の突出が目立つ。



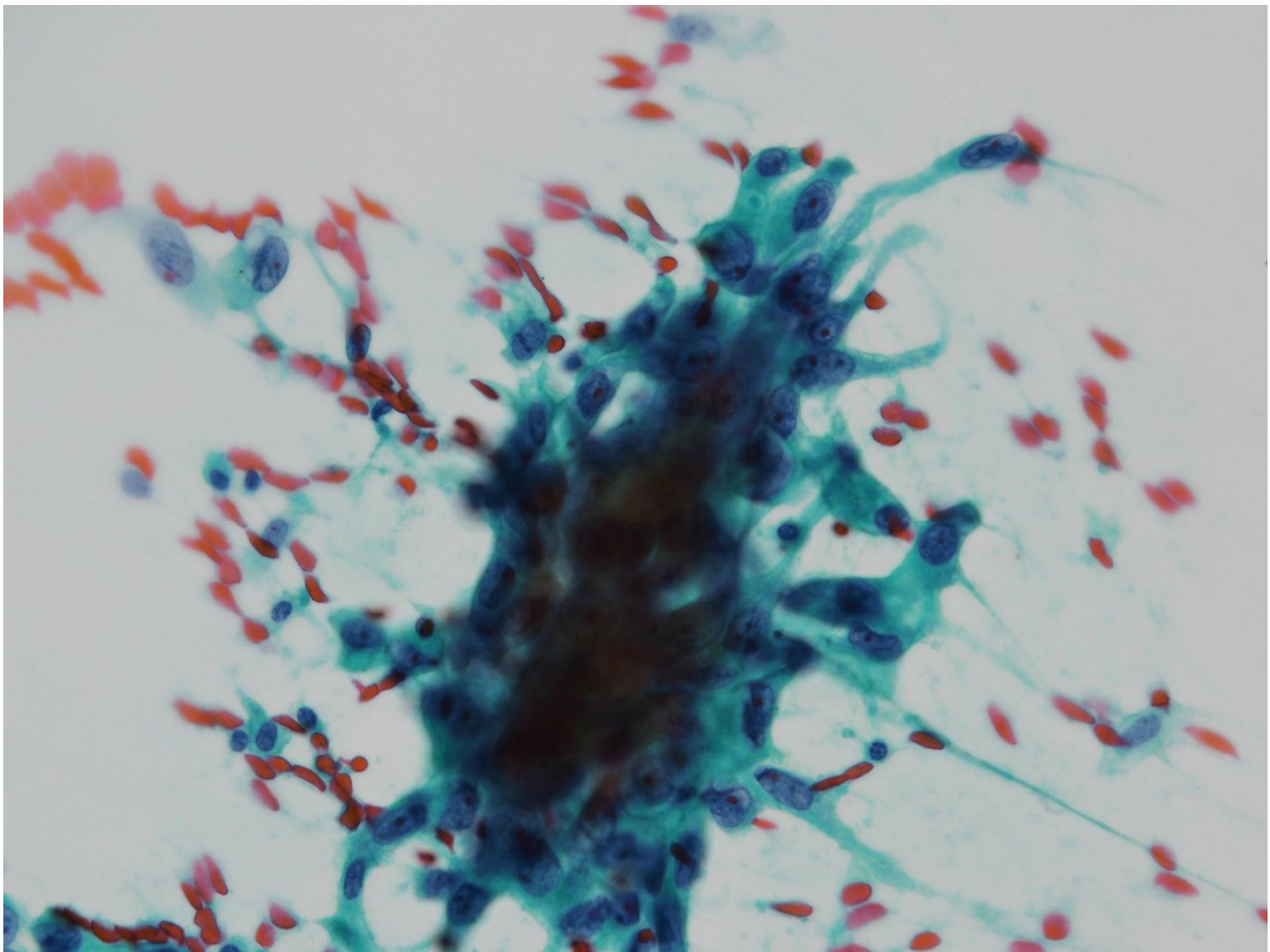
定型例 ⑬-3(擦過、扁平上皮癌、用語の一致率100%):細胞集塊の右側辺縁部にみられる腫瘍細胞には、ライトグリーンに淡染する豊富な細胞質がみられ、この細胞質は外方に向かって、髪の毛が毛羽立つように突出している。



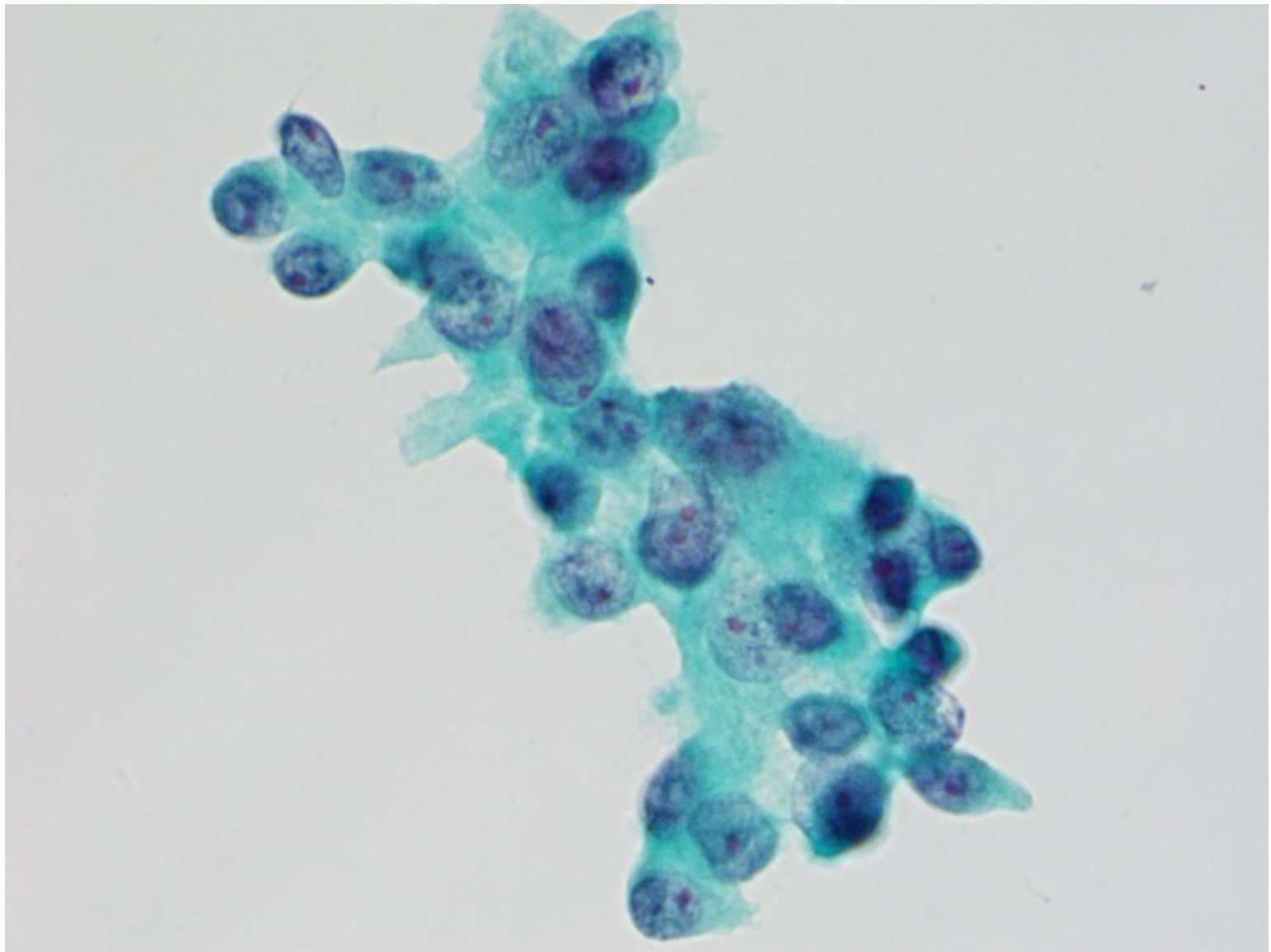
定型例 ⑬-4 (EBUS-TBNA、扁平上皮癌、用語の一致率90%) : 採取時の artifact が強い細胞集塊である。大型細胞集塊の上側周辺部にみられる腫瘍細胞の細胞質は、ライトグリーンに好染し、突起状に外方へ突出している。



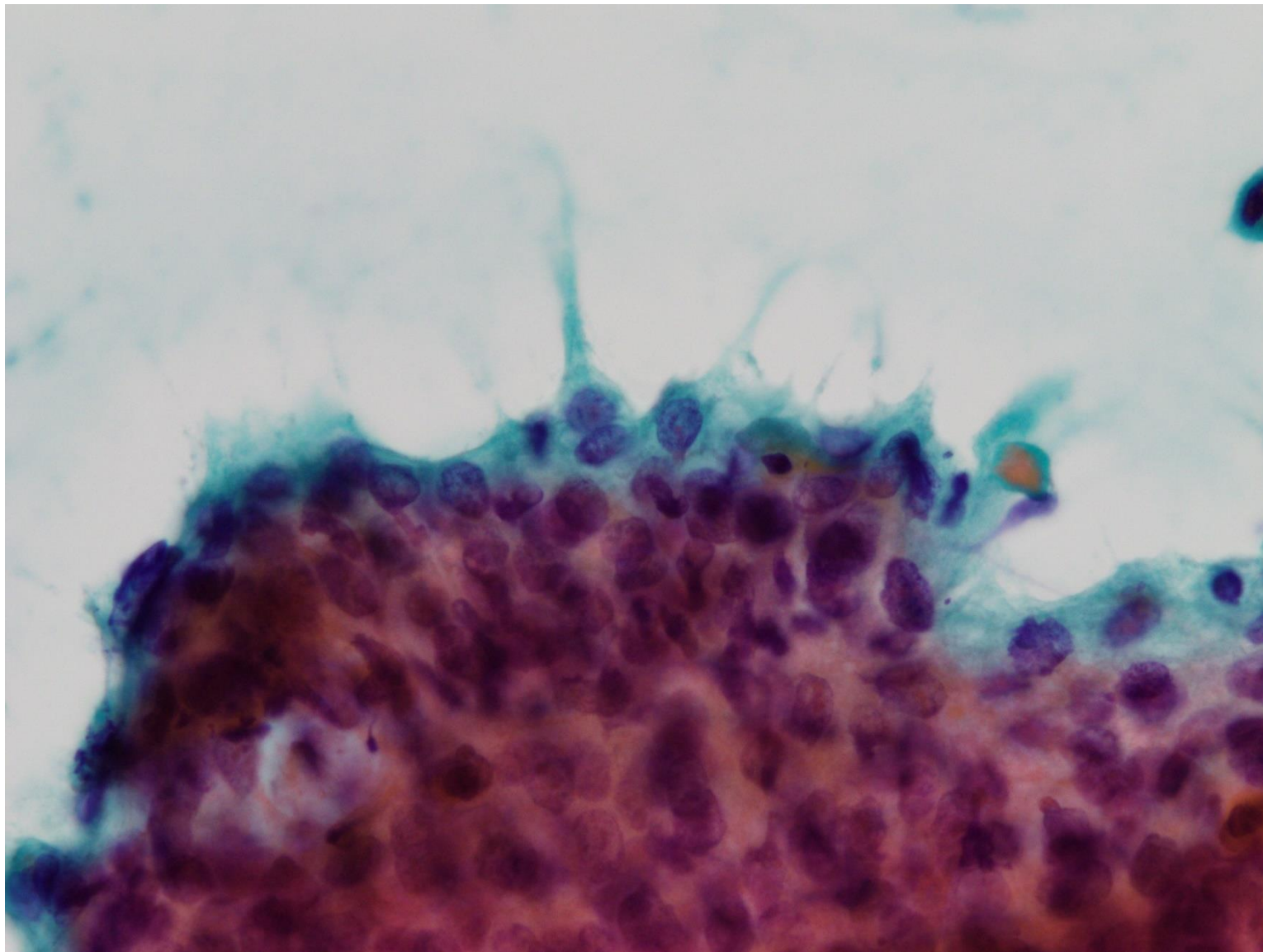
定型例 ⑬-5(擦過、腺癌、用語の一致率80%): 大型細胞集塊の右側辺縁部付近では、ライトグリーンに淡染する腫瘍細胞の細胞質が、髪の毛が逆立つように突出している。



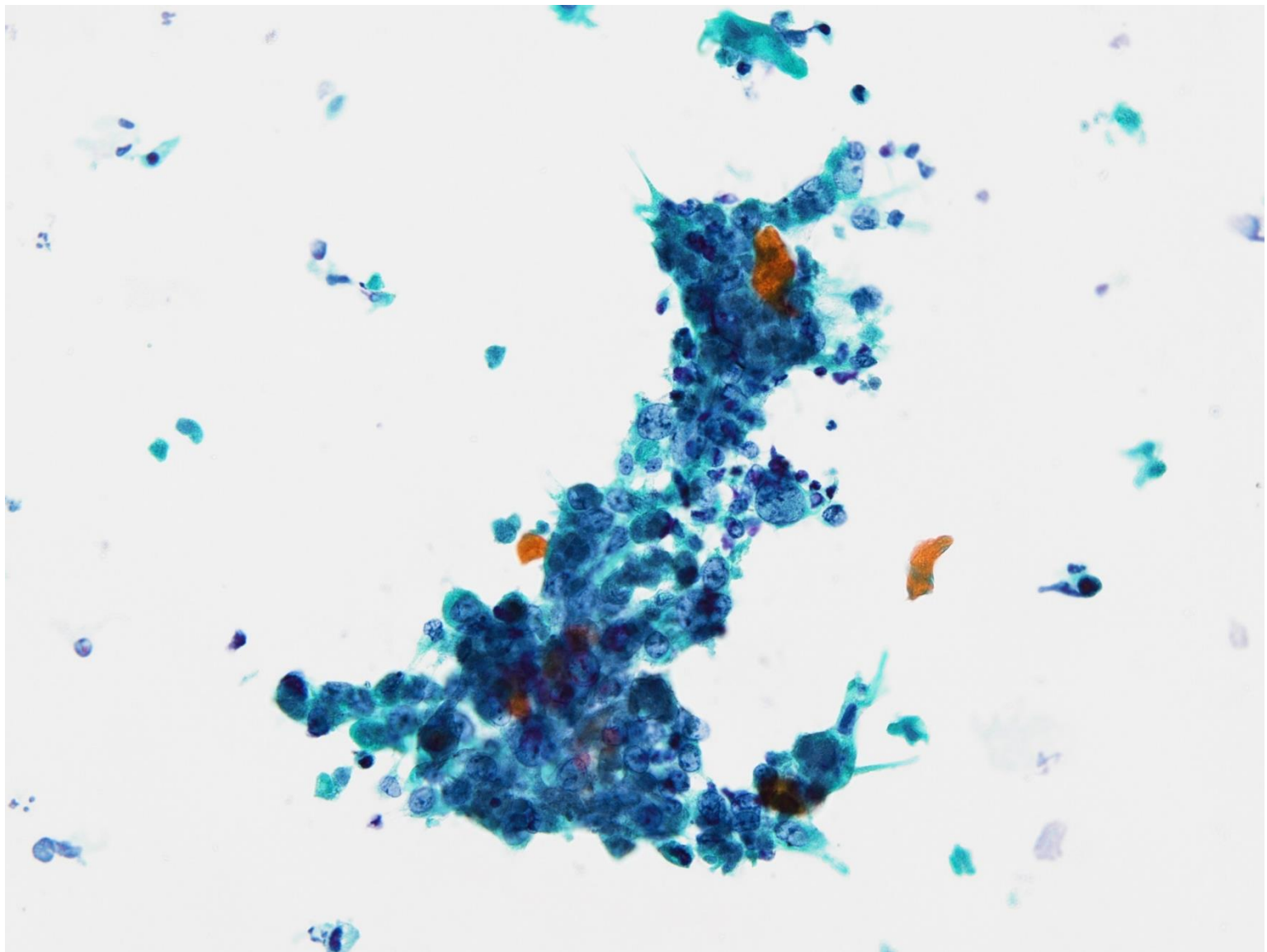
定型例 ⑬-6 (捺印、腺癌、用語の一致率100%) : 中型の細胞集塊がみられる。特に細胞集塊の右側辺縁の腫瘍細胞では、周囲に向かってライトグリーンに好染する細胞質の突出が目立つ。



⑬-7(捺印、腺癌、用語の一致率20%):細胞集塊辺縁では、腫瘍細胞の細胞質が、とんがり帽子様、半島状に外方へ突出している。しかし、突起状や髪の毛が逆立つような突出は認められない。



⑬-8(EBUS-TBNA、扁平上皮癌、用語の一致率60%): 大型細胞集塊辺縁の上側では、腫瘍細胞の細胞質が突起状に突出している。しかし、突出は1か所だけで、残りは不明瞭であるため、用語の一致率が高くなかった。そのため、数か所みられる場合に「細胞集塊辺縁の細胞質の突出あり」と判定することにした。



⑬-9(擦過、扁平上皮癌、用語の一致率0%):細胞集塊辺縁部では、数か所で腫瘍細胞の細胞質が突起状に突出している。しかし、この集塊では細胞質に乏しい腫瘍細胞が多く、定型的ではないため、一致率が極めて低かった。